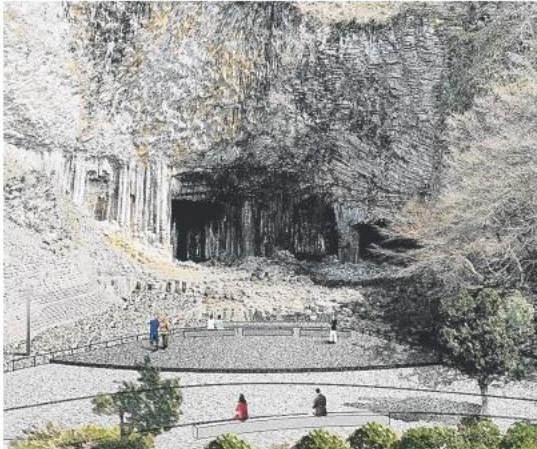


## 豊岡「玄武洞公園」再整備、有料化へ

# 玄武岩の迫力間近に

豊岡市は、無料開放している玄武洞公園（同市赤石）を再整備し、2022年度に有料化する。園内にある採石場跡の洞窟5カ所のうち、国の天然記念物「玄武洞」と「青龍洞」の前に観覧用のステージを設け、迫力ある玄武岩の巨大な断層を楽しめる空間を演出する。入園料収入は公園の維持保全費に充てる。（石川 翠）



玄武洞の前に観覧ステージを設けたイメージ図（豊岡市提供）

玄武洞には、約160万年前の火山噴火でマグマが冷え固まる際にできた、六角形の柱状の玄武岩が連なる「柱状節理」が残る。1931年、青龍洞とともに国の天然記念物に、63年には周辺一帯が山陰海岸国立公園に指定された。玄武洞公園には、ほかに白虎洞、南朱雀洞、北朱雀洞の三つの採石場跡がある。玄武岩は石垣などに利用されやすく、城崎温泉街の中心を流れる大谿川の石垣などにも使われている。

### 来年度 観覧ステージ設置



市は整備計画を2013年度から進めており、21年度中に公園前を通る県道の工事を終える予定。それに合わせ、観覧ステージの整備などに着手する。

ステージはコンクリート造り。玄武洞前は縦18尺、横23尺の扇形、青龍洞前は縦8尺、横13尺の長方形。どちらも高さは約20センチ。園内の通路全体も、玄武洞などが引き立つような落ち着いた色で舗装する。

有料化は早ければ22年夏ごろから。入園料は来園者へのアンケート結果を参考に決め、大人500円、高校生以上300円、中学生以下無料にする予定。

19年度の来園者は約15万9千人。有料化後の目標は年間8万人。全体事業費は約1億8300万円で、合併特別債を充てる方針。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 】

①豊岡市が、園内にある採石場跡の洞窟5カ所のうち、観覧用のステージを設けるのは玄武洞と何洞ですか。

②玄武洞に残る六角形の柱状の玄武岩が連なるものを何といいますか。また、いっとうやってきましたか。



③園内にある採石場跡の洞窟5カ所のうち①以外の残りの3つを書きましょう。




④玄武岩は何によく利用されますか。また、特徴を調べてみましょう。